

Appendix

会社概要

- 商号：株式会社オプティム（東京証券取引所市場第一部：3694）

- 設立：2000年

- オフィス：

 - OPTiM TOKYO（東京本社）

 - OPTiM SAGA（佐賀本店：佐賀大学内）

 - OPTiM FUKUOKA

 - OPTiM KOBE

- 代表者：菅谷俊二（佐賀大学農学部招聘教授）

- 総スタッフ数：585名

 - （2021年4月現在：派遣・契約・バイト(フルタイム換算値) 含む）

 - 平均年齢：32.8歳

- 主要株主

 - 菅谷 俊二、東日本電信電話株式会社、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社（旧 富士ゼロックス株式会社）等



東京本社



佐賀本店

ネットを空気に変える

株式会社オプティム 代表取締役社長

菅谷 俊二



当社は、「ネットを空気に変える」というコンセプトを掲げ、もはや生活インフラとなったインターネットが、いまだに利用にあたりITリテラシーを必要とする現状を変え、インターネットそのものを空気のように、全く意識することなく使いこなせる存在に変えていくことをミッションとして、創業以来すべての人々が等しくインターネットのもたらす、創造性・便利さを享受出来るようサポートするプロダクトの開発に尽力しております。

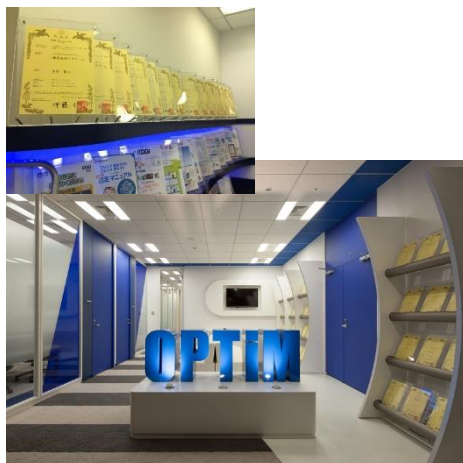
知財戦略に基づく豊富な技術力、及び、事業創造力を背景に、常に革新的なサービスを提供し新しい市場を開拓してきました。また、AI・IoT・Big Dataのマーケットリーダーとして、各産業のトッププレイヤーと強固なビジネスディベロップメントを推進しております。国内市場ではシェアNo1のサービスを擁し、豊富なライセンス収益を基盤としたビジネスモデルを確立しております。

特徴（強み）	内容
1. 豊富な技術的発想力	国内初・世界初を実現する特許に基づいた機能・製品・サービス・ビジネスモデル開発（当社代表は情報通信分野における個人特許資産規模ランキング1位 ^{※1} を受賞）
2. 高度な技術力	得たライセンス収益を次世代IT技術分野に研究開発投資を行い獲得した、AI・IoT・Cloud・Security・Robotics分野での高い技術力により、新しい着想を実現
3. サービス企画・開発・運用力	新しい着想で実現した製品をパッケージサービスとして汎用化する企画力。サービスを顧客のニーズに合致した機能、価格、サービスモデルを企画、設計し、開発、運用を行う能力
4. 強固なライセンス収益	国内市場シェアNo1のMDMサービスである「Optimal Biz」、国内最大数のユーザ数を持つ「Optimal Remote」を始めとしたサブスクリプションビジネス（料金を支払うことにより一定期間サービスを受けられるモデル）による強固なライセンス収益
5. コンサルティング力	パートナー企業の市場環境を理解し、パートナー企業と共にオプティムのテクノロジーを活用したイノベーション、新サービスを創造する高いコンサルティング能力
6. 事業創造力	新しい製品・サービスを各産業リーダ企業、通信キャリア、プリンタメーカーなど、多くのパートナーと提携し事業化、あるいは事業を大規模に展開する事業創造力

※1 出典：2015年1月末時点、パテント・リザルト社調査

※2 出典：ミック経済研究所 2019年9月発行、「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」より、2018年度実績値調査結果のうち、「Optimal Biz」が1位の評価を得た部門の数をオプティムが集計し、合計19部門で2018年度シェアNo.1の評価を獲得。富士キメラ総研 「2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」よりモバイルセキュリティ管理ツール市場における市場占有率、「数量」「金額」の割合。テクノ・システム・リサーチ 「2018-2019年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」よりモバイル管理市場 2018年実績。

- **豊富な知的財産**を保有
 - 当社代表は情報通信分野における個人特許資産規模ランキング1位を受賞（2015年1月末時点、パテント・リザルト社調査）
- **経済産業省特許庁**から、平成30年4月に「**知財功労賞**」を授与
- 新規事業分野への参入、事業の多角化、世界展開等、あらゆる局面で知財の有効活用を意識したイノベーション活動を展開
- ピンポイント農薬散布テクノロジーの特許が、令和元年度九州地方発明表彰において、「**文部科学大臣賞**」を受賞



（ご参考：知財功労賞 特許庁長官表彰 受賞のポイントより抜粋）
オプティムは、常に新しい技術を生み出し、取り込みながら研究開発を行い、その成果を活用した製品・サービス、さらにはビジネスモデルで取得した特許権が差別化を生み出すことにより、事業の競争優位性を確保している。

皆さんの身近なところでも、当社のテクノロジーが使われています。
AIが自動でインターネット接続を行います



スマートフォンやパソコンをお使いのお客様は、
コールセンターから、遠隔でサポートを受けることができます



利用者数
国内No.1

au = SoftBank

FLET'S 光

フレッツ 光

BBIQ SBI証券

 Optimal Biz ~日本で最も選ばれているMDM~

Optimal Bizは、スマートフォンやタブレットの ビジネス活用における幅広い課題を解決

IT管理者の負担を削減する

パソコンもクラウドで一元管理



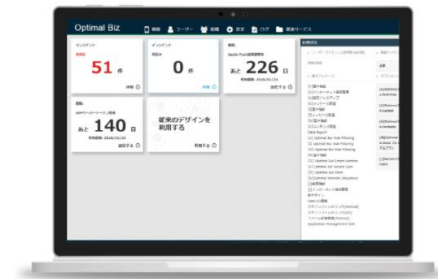
セキュリティリスク、
情報漏えいの危険



業務外利用による
業務効率の低下



各種デバイスの管理の負担
大量端末の管理のコスト



法人向けクラウドデバイス管理ソリューションである「Optimal Biz」は、さまざまなOSを搭載したネットワークデバイスを、一元的にマネジメントできることをコンセプトとしたサービスになっております。法人向けスマートフォン、タブレット、パソコン、サーバーを管理対象デバイスとし、iOS、Android、Windows、Macを管理対象OSとし、クラウド上からマルチデバイス、マルチキャリア、マルチOSで一元管理できます。デバイスの〈紛失盗難対策〉、〈不正利用防止〉、〈資産管理〉、〈初期OS環境設定〉を行うことができ、デバイス導入に必須のプラットフォームとなりつつあります。

主要販売パートナー

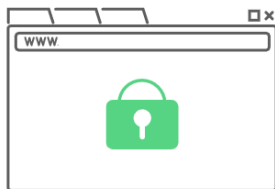


「Optimal Biz」は、**販売パートナーを通じての提供**や、**OEM提供による販売パートナーのサービスとして提供**されており、当社グループは端末数に応じたライセンス料を受領しております。当社グループでは、OEM提供の際は、販売パートナーの要望に応じたカスタマイズも行っております。

1 端末エンドユーザー標準価格：300円/月

オプション・サービス

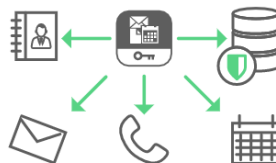
Optimal Biz Web Filtering
powered by i-Filter



Optimal Biz Antivirus
ウイルス対策オプション



Optimal Biz Secure Sync
リモートアクセスサービス

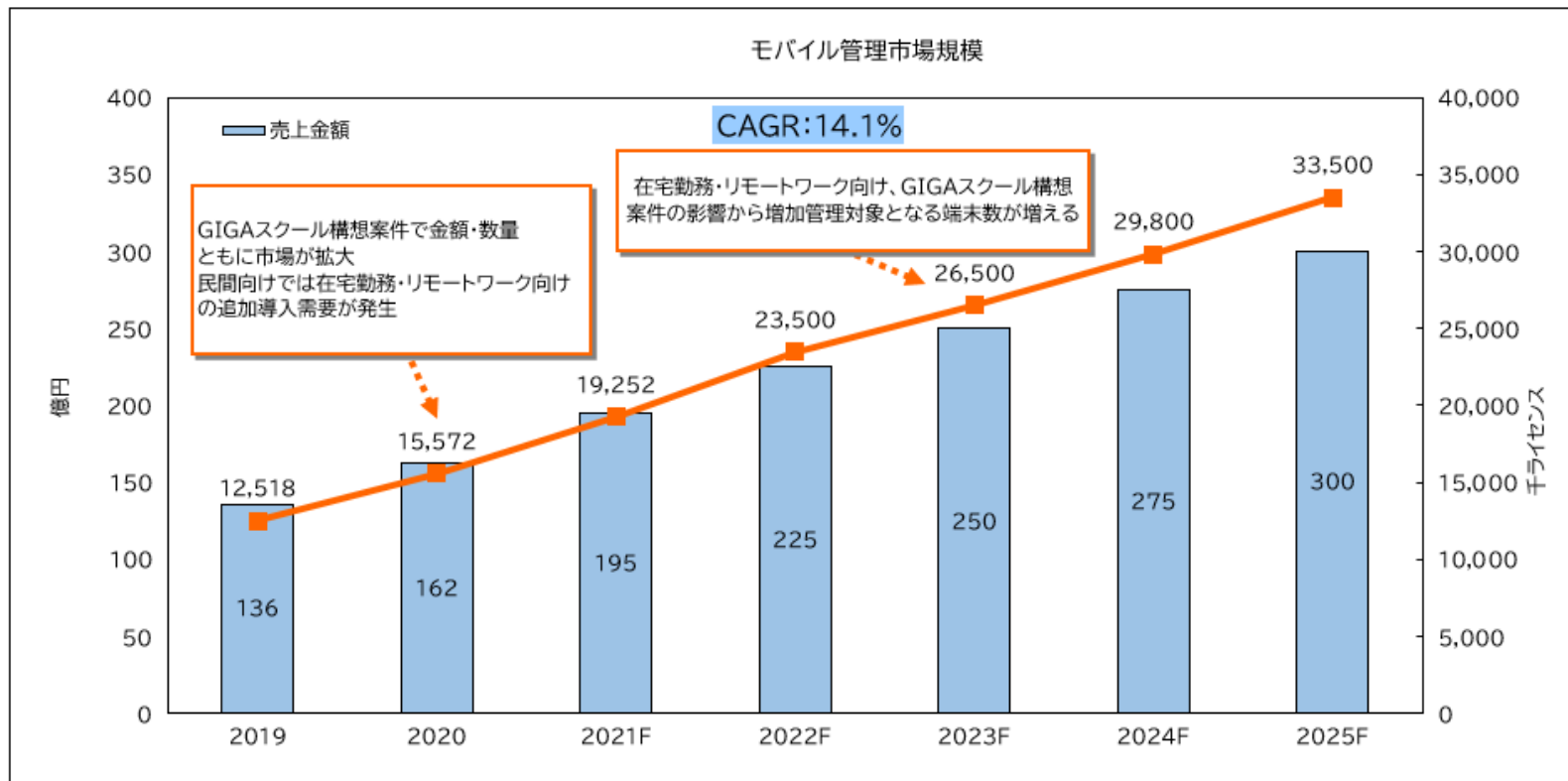


「Optimal Biz」は、ウェブフィルタリングや、ウイルス対策、MAM、MCM等、さまざまな機能を**オプションとして提供**しており、導入企業は必要とする機能のみのライセンス料を支払うことで、選択して導入することができます。

オフィス業務のデジタル化でより高度なセキュリティの運用を求められる時代に Optimal Biz (MDM) 市場の成長続く

MDM (モバイルデバイスマネジメント) 市場は、今後も、堅調な成長が見込まれている。※1
OptiMは 市場の30%~40%のシェアを占めデファクトスタンダードを獲得している。

モバイル管理市場トレンド



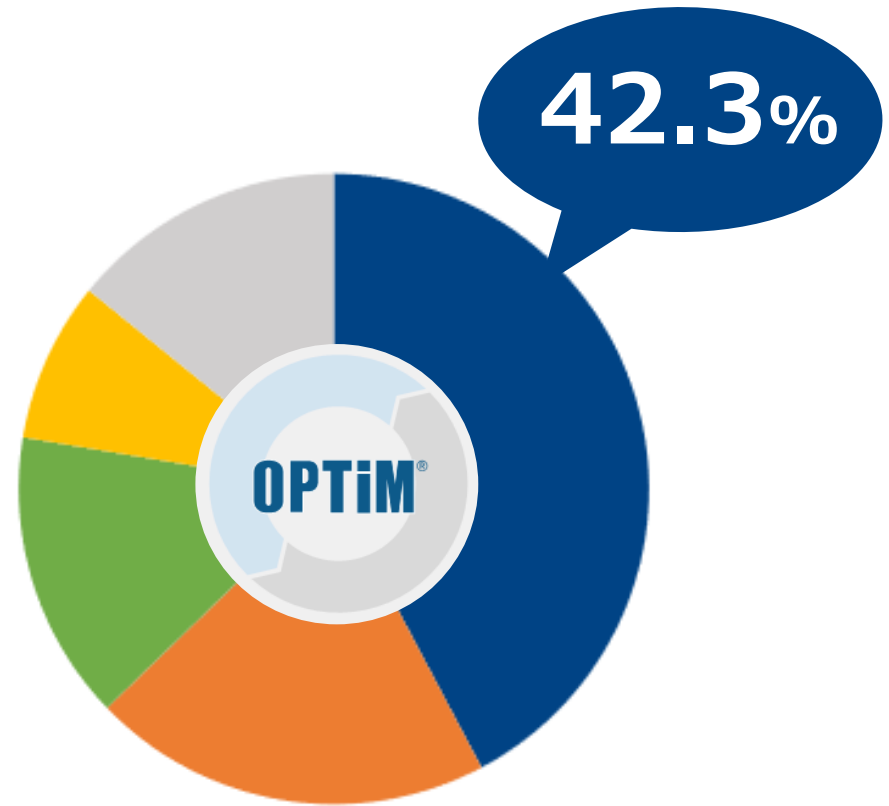
※1 テクノ・システム・リサーチ、2021年3月発刊、「2020-2021年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」



国内シェア **No.1**^{※1}

累計**180,000社**以上^{※2}の

圧倒的な導入実績



2019年度

※1 ミック経済研究所「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」SaaS・ASP型MDM出荷ID数
※2 2019年6月25日、当社集計

Optimal Biz : 国内で最も評価されているMDM

国内外の著名な調査会社4社が発刊した調査レポートにて、
合計**34部門**で**No.1**の評価を獲得しています



出典： IDC Japan
テクノ・システム・リサーチ
富士キメラ総研

「国内システム／サービス管理ソフトウェア市場シェア、2019年：SaaS市場の成長の本格化」 #JPJ45702920
「2020-2021年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」、2021年1月発行、II.市場動向編 2.モバイル管理市場
「2020 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 《市場編》」、2020年11月発行、
2019年度国内MDM・EMM市場<数量>・2019年度国内MDM・EMM市場<金額>。
デロイト トーマツミック経済研究所「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2020年度版」より、2020年10月発行、2019年度実績値調査結果の
うち、「Optimal Biz」が1位の評価を得た部門の数をオプティムが集計。

ますます広がるスマートフォン、タブレットの業務での活用



①GIGAスクール構想



②遠隔医療サービス



③テレワーク



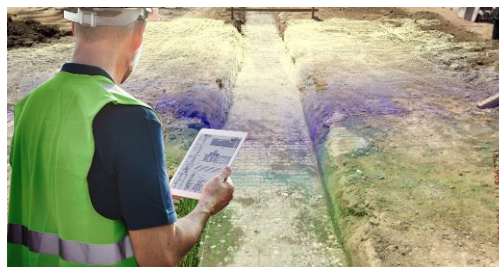
④コロナ対策サービス



⑤店舗の混雑状況確認



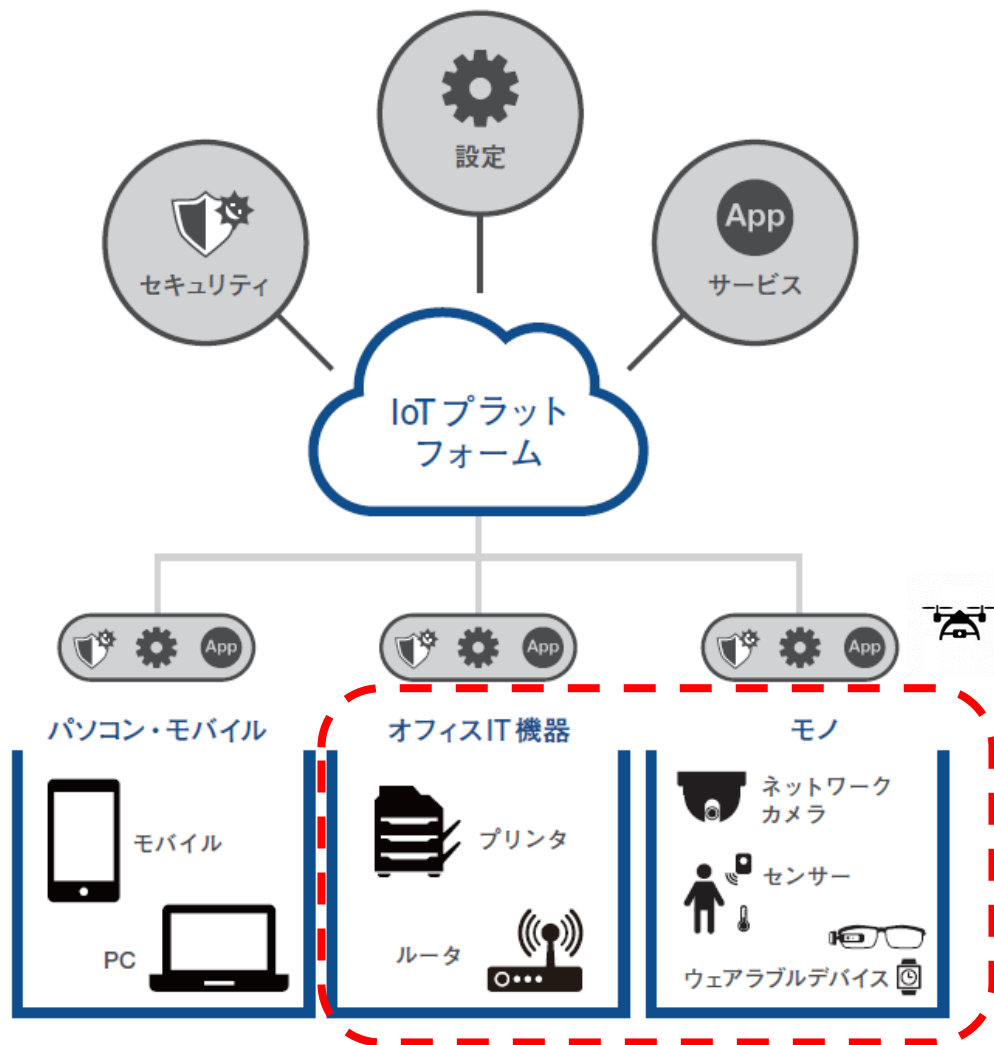
⑥キャッシュレス決済



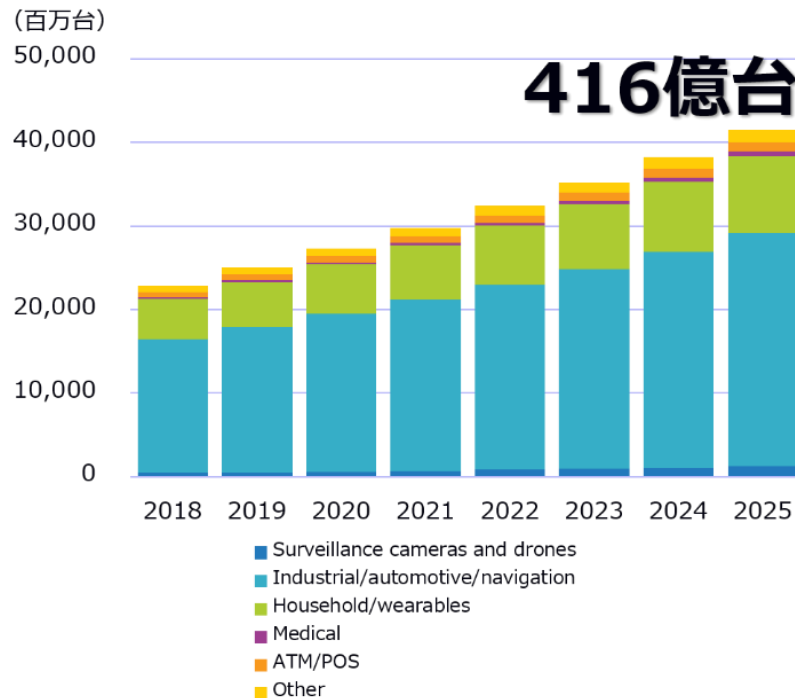
⑦建設・土木・農業などでの活用



⑧業務遠隔サポート



世界 IoT機器インストールベース予測



出典 IDC 2019 年 国内データエコシステム / Data as a Service に関わるプレイヤー分析: IoT 関連事業者を中心に

<https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ45371219>

IoT（モノのインターネット）が急速に拡大中

IoTプラットフォームからAI・IoTプラットフォームの提供

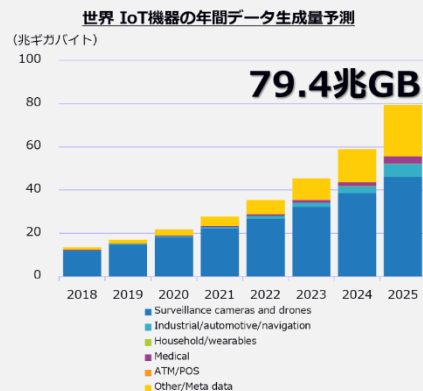
416億台のIoTデバイスが約80ZBのデータを生成、IDCが2025年を予測
(ZB=1GBの約1兆倍)



79.4兆GB

有益な情報を導くためにAI利用が不可欠に

IoT (モノのインターネット) の普及に伴う爆発的なデータ量の増加



出典 IDC 2019 年 国内データエコシステム/ Data as a Service に関わるプレイヤー分析: IoT 関連事業者を中心に <https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJP45371219>

AI(人工知能) のパッケージサービス提供

OPTiM AI Camera Enterprise **OPTiM AI** Camera



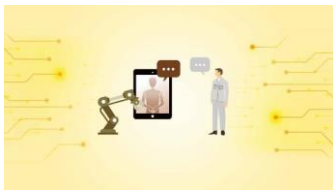
OPTiM AI Camera Mobile



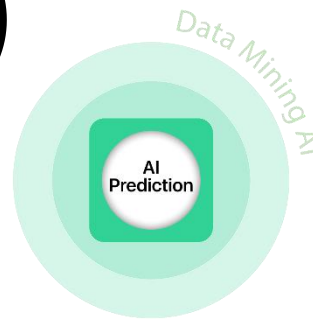
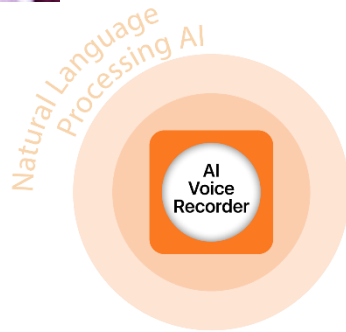
OPTiM AI Voice Recorder



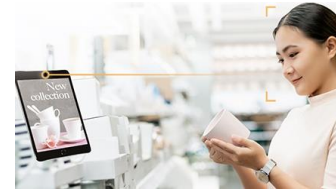
OPTiM AI Guide



Optimal Second Sight



OPTiM AI Research



OPTiM AI Store



OPTiM AI Signage



OPTiM AI Marker



OPTiM AI Creator



OPTiMのAIソリューションが5部門で市場シェアNo.1獲得 ※1



OPTiM AI Camera



OPTiM AI Camera Enterprise



Agri Field Manager

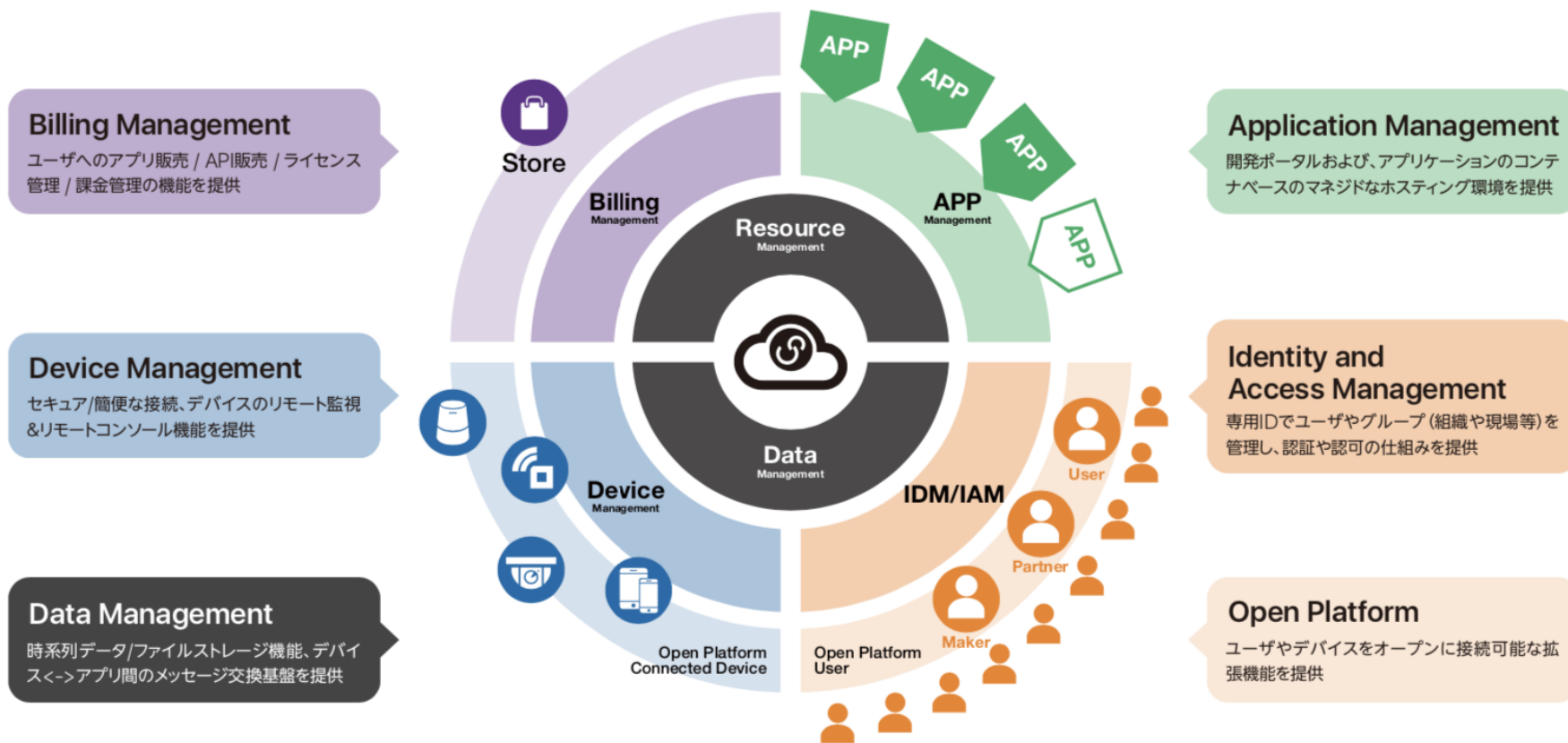


OPTiM Cloud IoT OS

※1 デロイト トーマツ ミック経済研究所「AI（ディープラーニング）活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2020年度版】」

プラットフォームのためのプラットフォーム

AI・IoTプラットフォームとしてエコシステムを形成するための一連の機能を具備





各産業とIT（AI・IoTなど）を組み合わせる
「〇〇×IT」により
全ての産業を第4次産業革命型産業へと
再発明してまいります